

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）				対象年度		令和6年度			
事業番号	80	事業名	防災士育成促進事業			担当課		安心安全課	
			(中事業名) 防災士育成促進事業			予算区分(款-項-目-中事業)		2-1-14-6	防災士育成促進事業
						決算書ページ		77	～
総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち						
	政策	1	住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり						
	施策	(2)	地域と一体となった防災力の向上						
	開始年度	平成29年度							
その他	終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		市民とのみ協働可			
	根拠法令等								
	関連計画	長久手市地域防災計画、長久手市防災士資格取得費助成事業実施要綱							
I 基本情報	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）				
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 市民60,000人		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
	【事業内容】 地域防災を担う人材育成のため、防災士資格取得費用の助成を行うことで資格取得を促進します。		【アクションプラン指標】 防災士資格取得費用の助成件数【単年】 【その他の指標】		防災士資格取得者が増え、市民である防災士等が、市民に対して防災講習を行うことで、「まちは自分で守る」という意識の醸成に繋がり、地域防災力が向上する。 (成果指標名) 市内防災士等が講師を務めた防災講習会等の実施回数		大 事 業 共 通 防災士の育成促進、備蓄食料品や防災資機材の購入、防災資機材の点検・整備を行い、市としての防災力の向上を図る。		

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
		1	【アクションプラン指標】 防災士資格取得費用の助成件数	件	基準値	5	目標値		5	5	5	5
			目標値	5	実績		4					
	2		基準値		目標値							
			目標値		実績							
	3		基準値		目標値							
			目標値		実績							
	4		基準値		目標値							
			目標値		実績							
	事業開始の背景	「まちは自分で守る」という意識の醸成及び地域防災力の向上を図るため、防災士の育成を促進するための助成事業を開始した。										
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R6	防災士資格取得費助成金について市HPに掲載しており、令和6年4月に時点修正等の更新を行ったが、大幅な修正はなく、資格取得意識の向上につながる新たな情報を発信できなかった。				R7						
	R8					R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析 (アウトカムの詳細)	成果指標 (CHECK)	成果指標名(中間成果をはかるもの)		単位	成果指標の推移と目標										
		市内防災士等が講師を務めた防災講習会等の実施回数		件	R5 年度	▶	R6 年度	▶	【現状】 R6 年度	▶	R7 年度	▶	R8 年度		
					18	12	12	12	12						
		成果達成状況						指標目標値の根拠							
	C		A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						月に1回以上(年間12回)実施することとしている。						
			評価の理由、分析												
	令和5年度に市内防災士等が講師を務めた防災講習会等の実施回数18回(月に1回以上実施)を成果指標としている。令和6年度は12回実施し、市民に対し講習会を行ったことで「まちは自分で守る」という意識の醸成につながったと考えるが、令和5年度から6回減少している。														
	加える変化 (ACTION)	今後の方向性			今後の方向性の理由										
		B		A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止			市内防災士等に今後も積極的に講師を務めてもらうことで、市民の防災力向上や「まちは自分で守る」という意識を醸成していく。また、講師である市内防災士等がスキルアップを図ることができるよう、市から講座や研修等の紹介を行う。								
				改善ポイント											
(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)															
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度				
1	防災士の取得人数の増加	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	市が講師を務める自主防災講習会において防災士の資格取得を促し、防災士の人数を増やすことにより、防災講習会で講師を務める防災士の人数を増加させる。												
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止													
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止													

IV 費用	令和8年度予算の方向性 (PLAN)	R8年度の費用 (R7年度比)		3年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
			C. 縮小 D. 廃止			168	67	70	47	70		
		理由			特定財源	合計額	0	0	0	0	0	
		今後も市内防災士等が講師を務めることで、市民の防災力向上や「まちは自分で守る」という意識を醸成していくため事業を継続していく。				(内 国費)	0	0	0	0	0	
						(内 県費)	0	0	0	0	0	
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0	
						(内 その他)	0	0	0	0	0	
					一般財源	168	67	70	47	70		
		積算額			R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R6年度予算額) >							
防災士資格取得助成補助金 70千円			防災士資格取得助成補助金 70千円 (70千円)									